

信用金庫の預金セールスの変化

2025
プランニング

ポイント

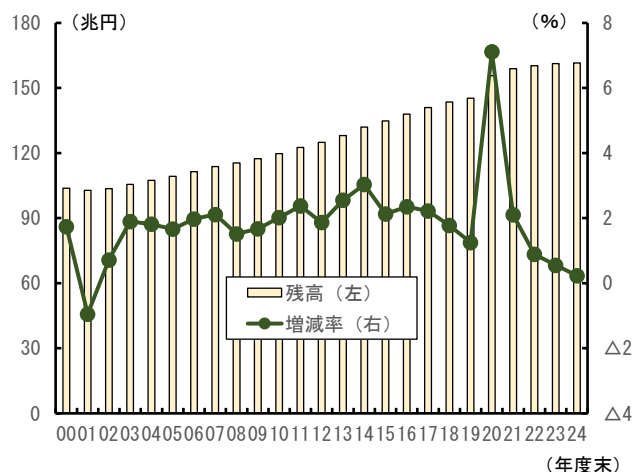
- 日本銀行によるマイナス金利政策の解除をきっかけに、多くの信用金庫が預金獲得に向けたセールス活動を重視するようになった。
- 足元では、2025年12月末の信用金庫の預金残高は前年同月末比0.2%減となり、月末ベースでは7か月連続で前年同月末を下回って推移している。
- 取組時の検討ポイントは、経営陣と職員の「融資特化」から「預貸併進」への意識改革であり、そのための体制整備を急ぐことである。
- 研修受講金庫の取組事例をみると、目標設定の見直しから着手する信用金庫が多く、併せて営業体制の改革も行われていた。

(注) 本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2025年度&経営層向け）」等の意見交換で得た情報をもとに作成している。

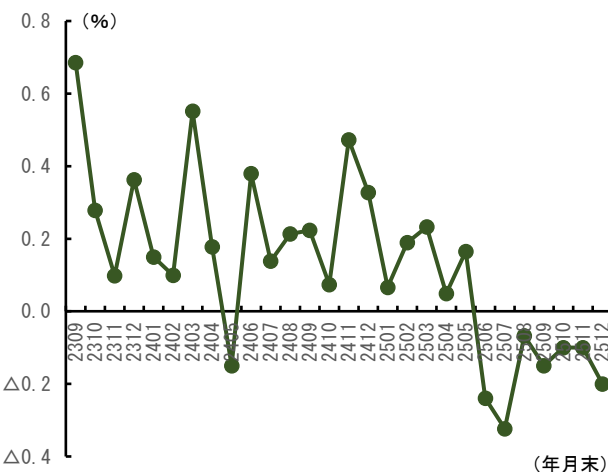
1. 預金セールスの変化

人口減少・少子高齢化などを背景に個人預金の伸び悩みが顕在化するなか、2024年3月の日本銀行によるマイナス金利政策解除を受け、預金獲得に苦慮する信用金庫が目立つようになった。信用金庫の預金残高の推移をみると、2024年度末時点では前期比微増を維持できたが（図表1）、2025年6月末以降、7か月連続で前年同月末を下回って推移しており、12月も前年同月末比0.2%減となった（図表2）。2025年度末を控え、ペイオフ解禁時の2001年度末以来の前期比割れの可能性も出てきた。

（図表1）預金残高の推移



（図表2）預金残高の増減率（前年同月末比）



（備考）図表1から3まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 預貸併進スタイルへの移行

信用金庫にとって預金は収益獲得の原資であり、預金残高の減少は経営の選択肢を狭める可能性が懸念される。そこで多くの信用金庫は、マイナス金利政策下で注力してきた「融資特化」の営業スタイルから、「預貸併進」の営業スタイルへの移行を模索するようになった。預貸併進により、預金残高と貸出金残高を両建てで積み上げ、業容拡大と収益の獲得を目指す方向にある。

3. 取組時の留意点

取組時の検討ポイントは、①経営陣を含めた預貸併進への意識改革、②推進体制の整備、③商品・サービスの提供などである。そのためには営業体制を見直し、人員配置や目標設定、提供する商品・サービスなどをアップデートする必要がある。また前提として、預金セールスの重要性を経営陣および営業現場が十分に理解し、整合性の取れた活動に取り組むことが求められよう。

4. 研修受講金庫のコメント

当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修（2025年度&経営層向け）」等の意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは**図表3**のとおりである¹。

（図表3）研修受講金庫のコメント（預金セールスへの取組み）

- 現状、預金セールスに注力しないと残高が落ちていく。当金庫の営業店は長年の風土で預かり資産を売りたいがるので、営業店が預金セールスに取り組まなければならない状況を作った。預かり資産は本部に集約し、かつ預かり資産の評価ポイントを大幅に引き下げた。本支店レートも0.8%に引き上げている。
- 漠然と資金繰りが厳しくなるのでは？との不安が高まっており、業績目標を預金2・貸出金8から、預金5・貸出金5に見直した。当金庫はこれまで貸出一本の営業推進だったので、まさに「預金（セールス）元年」である。
- 預金セールスを再開するとの話が出た時、営業店長から意外にポジティブな意見が相次いだ。と言うのも、これまでの融資特化型の営業スタイルだと、内勤職員が参加しにくかったが、預金セールスならテラーや後方事務も参加しやすくなる。
- これまでは個人預金を獲得するため全店共通で預金キャンペーンを行ってきたが、店によってバラツキがあった。特に難しいのがサテライト店の意欲である。そこで店舗（エリア）単位で預金推進のキャンペーンをさせる方向に舵を切った。
- 営業店の負荷を軽減しつつ業容を維持するため、預金の不足分は本部が何とかする。そのため公金預金などを積極的にとる必要がある。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断でお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

¹ 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしておりません）。

経営戦略プランニング研修（2025 年度）

関連レポートのご案内

営業推進

このほかにも、
信用金庫経営に関する様々な情報を発信していますので、
当金庫 HP からご覧ください！

当研究所 HP トップ : <https://www.scbri.jp/>

関連レポートは
こちら



No.	発行日	タイトル
2025-10	2025/4/15	信用金庫の渉外体制改革の動向
2025-11	2025/4/17	信用金庫の法人特化型推進体制の留意点
2025-12	2025/4/17	信用金庫の本部設置型法人専担の活動状況
2025-13	2025/4/17	信用金庫の集金専担の活動状況
2025-15	2025/4/30	信用金庫の F S T による 渉外営業力の強化
2025-16	2025/4/30	信用金庫のアウトバンドコールによる消費者ローンの推進